

# 議会運営委員会 行政視察報告書

議会運営委員会委員長 山宮 留美子

## 視察概要

視察日：令和8年2月3日（火）～4日（水）

視察先：大阪府和泉市・泉大津市

目 的：議会改革先進地の視察

年明け早々、高市総理より急な解散総選挙の発表があり、全国の自治体が選挙準備で慌ただしい状況にある中、和泉市および泉大津市の両市が視察を快く受け入れてくださいました。

両市からは議会改革の取り組みについて丁寧な説明をいただき、活発な意見交換を行うことができました。特に泉大津市議会では、大塚議長が最後まで説明に加わってください、議会改革に対する真摯な姿勢が強く伝わりました。

## 和泉市議会の取り組み

### （1）説明いただいた主な内容

- ・ 議会運営
- ・ 議会改革の経緯
- ・ 近年の議会改革の取り組み
- ・ 開かれた議会への取り組み
- ・ タブレット導入
- ・ 電子採決
- ・ 住民参画
- ・ 市議会だより
- ・ SNS 活用

### （2）特に参考となった取り組み

UD トークおよびヒアリンググループの導入

#### ■ UD トーク

##### 【導入目的】

聴覚障がい者等が円滑に会議を傍聴できる環境を整備し、開かれた議会を実現するため。

##### 【概要】

- ・ 音声認識により発言を文字化するアプリ

- ・ 単語登録により再現率を向上
- ・ 無償版を使用（機能差はほぼなし）

#### 【運用】

- ・ 議場・委員会室で使用
- ・ 専用機器（iRig2）を接続し、マイク音声を直接入力
- ・ 人名・地名・方言などを単語登録し精度向上
- ・ 令和5年第4回定例会よりライブ中継に字幕を導入

#### 【成果】

- ・ 聴覚障がい者の傍聴が増加
- ・ UDトークを目的とした傍聴者も来訪
- ・ テキストデータ化により議事録作成が効率化
- ・ 発言訂正時の迅速な確認が可能
- ・ 多言語翻訳にも活用可能



▲UDトーク（無償版）を使ってモニターに字幕を表示している

## ■ ヒアリングループ

#### 【概要】

難聴者の聞こえを支援する設備で、マイク音声を補聴器・人工内耳へ直接届けることで、雑音の少ないクリアな音声を提供。

#### 【仕組み】

- ・ 音声をアンプに通し、床下のループ線に電気信号として送信
- ・ 誘導磁界により補聴器などで明瞭な音声を受信
- ・ 運用の仕方
- ・ 先着5台まで貸し出し
- ・ 事務局が利用者名簿で管理

## 泉大津市議会の取り組み

### (1) 議会改革検討協議会

第1期～第4期までに計130回開催し、継続的に議会改革を推進。

### (2) 実施された主な取り組み

- ・ 議会傍聴よびかけ隊
- ・ 本会議の中継・録画放送
- ・ 市役所1階ロビーでの議会放送
- ・ 本会議インターネット中継
- ・ 委員会インターネット中継
- ・ 市民との意見交換会
- ・ 議場見学会

### (3) 近年の取り組み

- ・ 議場コンサート
- ・ こども議会の開催

### (4) 特に印象に残った取り組み

議会傍聴よびかけ隊

議会開会の1週間前に、市内のスーパーや駅前で議員自らがチラシを配布し、傍聴を呼びかける活動。平成26年から継続されており、現在も議会前には積極的にアピール活動を行っているとのことでした。長年の継続が市民への浸透につながっており、「継続は力なり」を実感する取り組みでした。



▲傍聴よびかけ隊（スーパー前で活動）



▲裏面に一般質問の内容等を掲載している

### 〈委員長所感〉

今回の視察を通じて、両市の議会改革は単なる制度整備にとどまらず、市民に議会を近づけるという強い意思と継続的な努力によって支えられていることを改めて感じました。

和泉市のUDトークやヒアリンググループの導入は、誰もが議会を身近に感じられる環境づくりの象徴であり、議会改革の姿勢に深く学ぶものがありました。

また、泉大津市の議会傍聴よびかけ隊は、議員自らが市民のもとへ出向き、議会を身近に感じてもらうための地道な取り組みであり、その継続力に強い感銘を受けました。

本市においても、今回得た学びを活かし、市民に開かれ、参加しやすく、信頼される議会運営をさらに進めていく必要性を強く感じています。視察で得た知見を委員会で共有し、今後の議会改革に活かしてまいります。